



平成25年度三原市中央公民館作品展示・学習発表会が盛大に行われ、終了致しました。すべての発表を紹介出来ないのは、誠に残念ですが、展示発表も多くの方々作品でにぎわいました。これからの生涯学習を見つけるヒントが沢山あったと思います。楽しく学ばれ、生活や職業能力の向上、自己の充実をめざし、いつでも、どこでも、誰もが、必要に応じて、自分に適した手段・方法を選んで自由に取り組み、笑顔の耐えない生涯学習であってほしいものです。皆様のご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。



舞台発表の様子



体験講座紹介

新しい風・生涯学習



介護現場で役立つアロマ (殺菌&防臭スプレー)

日程 4月17日(木)
場所 第2研修室(1F)
時間 10:00~11:30
定員 30人
対象 大人
参加費 1,100円
申し込み 4月14日(月)まで



春の寄せ植えを楽しもう

日程 4月21日(月)
場所 美術工芸室(3F)
時間 14:00~16:00
定員 30人
対象 大人
参加費 1,500円
申し込み 4月14日(月)まで



家庭で作れるやさしい料理

日程 4月30日(水)
場所 調理室(3F)
時間 10:00~13:00
定員 24人
対象 大人
参加費 600円
申し込み 4月23日(水)まで



過ぎてみれば、アッ！という間でした。

3月末で任期満了に伴い、生涯学習相談員を退任いたしました。中央公民館で3年間多種多様な講座を開催し、多くの方々との出会い、沢山のことを学ばせていただきました。生涯学習関係者の皆様、大変お世話になり、本当にありがとうございました。退任後は、受講生として生涯学習に励み、より豊かな人生になるよう学んで生きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

三原市中央公民館 生涯学習相談員 楠元 明美

平成26年5月の体験講座紹介

- ① 介護現場で役立つアロマパートⅡ(ハンドマッサージとマッサージオイルを作る)
- ② 初めての絵手紙
- ③ 焼きたてパンでサンドイッチの朝食はいかが

三原市中央公民館
三原市円一町2丁目3番1号
講座の申込先 中央公民館生涯学習課
TEL 0848-64-2137



連載企画

「海・山・空」夢ひびくまち

大和を訪ねて Ⅱ

三十年の歳月をかけた

神田大池は米作りを繁栄

昭和六年(1931)安定した農作業を行うため三十年の歳月をかけ神田大池は完成しました。工事は毎日のようにトロッコで土を運ぶ作業で、多数の工夫によって戦時中も進められていました。昭和十八年の夏、一週間におよぶ長雨で堤防が決壊し、下流の家屋三戸、耕地数町歩を流失させる災害が発生しました。この不慮の災害は地元の人々と工事関係者に大きな衝撃を与えましたが、その後は村をあげて復旧工事に全力を注がれました。



戦争の激しさが増し応召者は日を負って増加し工事が進みませんでした。終戦とともに多くの復員者が帰って来られましたが、戦後の混乱で工事もあり進まなかったようです。このような状況の中、

遂に昭和三十六年三月、水面十町歩五十五万トンの水量を満たした。このような神田大池は完成しました。このような先人の努力により、今や雨期には水禍を防ぎ旱天には香水を恵み年々歳々用水の不安なく沃土豊饒の秋を迎えよう。先輩諸士の遠謀深慮身努力の賜なり。と記念碑が建立されています。近くにはサイクリングターミナルもあり周辺の桜が見ごろです。



発電利用後、工業用水と上水道用水に利用



椋梨ダムは、昭和四十一年三月から工事が始まり三ヶ年を要し完成しました。

三原市及び尾道市周辺の地域に、上水道用水の水源確保の目的とダムに貯留された水を利用して最大二万三千キロワット、常時千二百キロワットの発電を行い、発電利用後、三原・尾道・福山附近に工業用水及び上水道用水として利用することを目的に広島県が建設しました。椋梨ダムは愛称「白竜湖」と名づけられました。白はダムサイドの地名、「箱川(古名は白川)」にちなんだもので、竜はダムの形状が竜に似ているところから名づけられました。立退き家屋は七十四戸でダムサイドはスポーツ村公園として整備されており、桜がたくさん植えられています。

ます。

黒谷古墳(県指定史跡)

古墳時代末期(七世紀)の棚つき横穴式石室でこの地方の豪族の墓と思われる。石室は奥行四、幅二あり、奥側に遺体を安置したと思われる棚が造られており、明らかに2体の遺体を上下に安置できるといわれる。黒谷古墳は珍しく、県内では黒谷古墳だけで全国的にも類例が少なく県指定史跡に指定されています。



今でしよう 樓眞寺

桜がきれいです！

樓眞寺の滝？ 瀑雪の滝です。

樓眞寺は臨済宗妙心寺派の寺院で、山号は応海山と号し、本尊は観音菩薩です。鎌倉時代初期に、源頼朝の娘の早逝を悼み、土肥実平、遠平親子が建立した小早川氏ゆかりの古刹です。樓眞寺は人里はなれた平坂地域にあり、同寺の文化財収蔵庫には県重要文化財指定の二十八部衆立像と市指定の観音菩薩像・阿弥陀如来像も保存されています。寺を千五百ほど降りると高さ三十、幅四の壮観な滝、瀑雪の滝(樓眞寺の滝とも言われる)があります。桜がきれいな今、ハイキングをかねて行かれては！

郷土民俗 民具

家庭内にあった民具

一升瓶と一升枡

ペットボトルの普及によって、瓶製品が少なくなってきましたが、一升瓶といえはお酒と醤油のイメージがもたれます。一升瓶の容量は1.8リットルで、高さ39.8cm・底面の直径10.4cm・上端部外径3.1cmと決められています。枡は農家の米びつには「ハタゴマス」とか「ゴヒトス」と呼ばれる枡がありました。

一合を一升、十升を一斗、十斗を一斛

枡の規格統一は大宝令にみられるが、規格が乱れたので、太閤検地で全国統一され、江戸時代前期に江戸と京都に枡座を設け公定枡として、審査を通った枡に焼印し、使用されてきましたが、現在の枡は江戸枡のサイズが適用されています。明治・大正・昭和とメートル法の実施まで用いられていました。現在でも米の計量には使用されています。

一合は百五十、一升は一、五、一斗は十五、一斛は百五十



備後・相良城



広島民俗学会理事 榎 博自先生の「みはらみてある記」と歴史民俗資料館の資料・大和町誌等を参考文献に掲載しています。

『訂正とお詫』

三月号のかわら版で備後・相良城の写真を安芸・椋梨城の写真で掲載していました。